別紙様式（B4横型）

令和２年度　学校自己評価表　（ 計画段階 ・ 実施段階 ）

学校番号 52

福岡県立筑前高等学校長　　印

（その1）

学校運営計画（４月）			評価（３月）
学校運営方針	社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成し、地域に期待される普通科高校として、基礎的・基本的な知識・技能の獲得と定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を磨き、協働的に問題解決することを通して、自ら学び続け社会の形成に参画する生徒を育成する。		
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
【成果】 １　授業改善に取組み、魅力ある授業の展開 ２　生徒一人一人に応じた進路指導の充実 ３　課題研究やビブリオバトル等を通した言語活動の充実 ４　部活動や生徒会活動の活性化 【課題】 １　基礎的・汎用的能力の育成 ２　生徒の更なる学習意欲向上のための授業改善・学習評価の研究 ３　キャリア形成における基盤となる自己肯定感の向上 ４　効果的なカリキュラムマネジメントのための教職員の連携強化	基礎学力及び思考力・判断力・表現力の向上	(1)文理バランスのとれた計画的な学習による、学習意欲の向上及び自らの学習を調整し希望進路実現に結びつく学力の育成 (2)主体的・対話的な授業を通した、各教科の特質に応じた「見方・考え方」の育成 (3)思考力・判断力・表現力を養う「筑前レクチュール」を通した、学習の基盤となる資質・能力の育成 (4)高校生のための学びの基礎診断や外部模試等の客観的データ分析に基づいた「学習のＰＤＣＡ」の確立	
	キャリア教育の更なる充実	(1)ポートフォリオを積極的に活用したキャリアプランニング力の向上 (2)３年間を見通した探究活動（CSDs）を通して現代的な諸課題に触れることによる、望ましい職業観・勤労観の育成 (3)自分の人生をデザインするための、「筑前＜夢＞プロジェクト」、社会人講演会等の行事の充実 (4)社会の情報化・グローバル化に対応する力の育成（英検取得、海外研修、課題研究等）	
	不屈の精神としなやかさをあわせ持つ生徒の育成	(1)部活動や学校行事・生徒会活動の活性化を図り、体験を通して生徒の自己肯定感を高めることを通した、人間関係形成・社会形成能力の育成、 (2)多様な他者との協力や協働を通した、キャリア形成に必要な自己理解・自己管理能力の育成	
	教員の指導力、教職員の連携の強化	(1)校内外の研修を通して、教科指導力の向上に努め、多様な評価方法を研究・導入すること (2)教師自身が人権感覚を研ぎ澄まし、いじめを絶対にゆるさない雰囲気を醸成すること (3)「鍛ほめ福岡メソッド」に沿った積極的生徒指導の実践による自己肯定感及び自己指導能力の育成 (4)教科、分掌、学年を越えた柔軟な組織運営の確立	

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価（3月）			次年度の主な課題
教務部	教務課	授業の充実と評価手法の確立	ＩＣＴやアクティブ・ラーニングを交えた生徒参加型授業の実施				
			基礎的・基本的な進学に対応できる学力保障のためのきめ細かい指導の実施				
			すべての教科で定期考査において配点の２割以上の論述問題を導入				
			２学期から観点別評価項目毎の項目設定を実施し、多様な資質の評価を推進				
		基本的生活習慣の確立と自ら学び続ける力の育成	基本的生活習慣確立と出席率９８％以上を目指したチーム支援の強化				
			生徒の「起床時間・就寝時間・学習開始時間の三点固定」を推進				
			学習時間調査の実施によるスマホ使用時間管理と自己指導能力の育成				
			学習習慣の振り返りを通した「学習のＰＤＣＡサイクル」確立のための支援				
	ｶﾘｷｭﾗﾑﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ推進課	課題探究活動CSDsの実践	探究のプロセスを１年次に１回、２年次に２回螺旋的に実施				
			外部講師による講義や指導・助言を各学期に１回は必ず実施				
		新教育課程表の完成	令和４年度入学生用の新教育課程表を２学期までに完成				
			２学期までに各教科の実態を把握し、来年度へ向けたｶﾘｷｭﾗﾑﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ案の検討				
	企画広報課	式典等の円滑な運営	各課との連携を密にし、２週間前の起案完了と前日迄の進行要領確認の徹底				
			ＰＴＡ、同窓会との連携強化と業務内容のマニュアル化				
		広報活動の充実	第六学区進路説明会・中学生体験入学・中学校訪問の説明内容の充実				
			ホームページの内容を充実と更新回数 120％アップ				
	図書課	「筑前レクチュール」を通した言語活動の充実	１学年と連携したビブリオバトルを年２回実施				
			ビブリオバトル県大会出場者の選出に係る校内選抜を２学期までに２回実施				
		図書委員会の活性化を通した読書活動の充実	全校朝読書、並びにビブリオバトル普及を支援する各クラス図書委員の育成				
			「読書会」、「先生からの書評コーナー」等、本を媒介とするイベントの開催				

別紙様式（B4横型）

令和２年度　学校自己評価表　（ 計画段階 ・ 実施段階 ）

学校番号 52

福岡県立筑前高等学校長　　印

（その2）

生徒部	生徒課	人間関係形成・社会形成能力の育成	「鍛ほめ福岡メソッド」に沿った積極的生徒指導の実践				
			学校行事の体験を通した自己肯定感の育成				
			「学校生活アンケート」の活用と教職員間の情報共有によるいじめの未然防止				
			加入率８０％以上を目指した部活動の活性化				
		自己管理能力、緊急時の対応能力の育成	情報モラルに関する指導の推進と自己責任に関する意識付け				
			情報教育課との連携によるネットパトロールの定期的実施				
			年間５回以上の登下校指導による通学マナーの意識向上				
			防災避難訓練を通した危機回避能力の育成				
	保健課	健康教育の推進	健康観察･健康診断(年1回)をとおして推進する、生徒の自己管理能力の育成				
			保健管理や衛生環境を良好に保つための基本的な感染症対策の計画・実施				
		生徒支援体制の充実	SCの充実(月2回以上)を進め、共通理解を図るための情報交換会の実施				
			特別な支援が必要な生徒の実態把握、具体的計画の検討(支援引き継ぎシート)				
	環境課	美化意識と自己向上意識の育成	校内や食堂に花や絵画・写真・書などの展示を増やし和やかな環境を作る				
			委員会活動を活発化させ、生徒による美化コンクールを２回実施				
		地域ボランティア活動の充実	海洋ゴミやマイクロプラスチックゴミについて調査・発表を実施				
			周船寺校区の行事への参加による地域貢献				
進路指導部	キャリア形成課	生徒の進路実現に向けた、組織的・計画的な進路指導	国公立大学のＡＯ・推薦を意識させた組織的な指導の推進（難関国公立大学受験者　２０名以上、国公立大学合格者１２０名、難関私大合格者５０名）				
			大学入試共通テストに対応するため、研修会等の傘下による研究・実践及び情報収集の継続及び活用				
			課外授業の在り方・実施内容の精選				
			模擬試験結果判明後の分析会の実施及び情報共有の徹底				
		自分の人生デザインのためのポートフォリオを積極的に活用したキャリアプランニング力の向上	国公立を含めた全国の大学に目を向けさせた、高い志と目標を掲げた進路選択				
			進路実現に向けたプランニング力の向上及び３年生へのＡＯ・推薦試験→前期試験→後期試験と諦めさせない指導				
			定期的なポートフォリオ入力による将来の職業観等のビジョンの明確化及びキャリアプランニングへの活用				
			１・２年次での人生プランニング力向上のため、筑前〈夢〉プロジェクトや社会人講演会等の実施				
	情報教育課	ＩＣＴ機器を利用した効果的教育活動の推進	授業における電子黒板やプロジェクタを積極的に活用したICT機器の有効利用				
			相互授業参観時に、ICT機器特にタブレットPCを活用した授業の実施を奨励				
		ネットワークを利用した校務の効率化	学校ﾎﾟｰﾀﾙｻｲﾄの利用，文書のPDF化，校務用メールを活用によるﾍﾟｰﾊﾟｰﾚｽ化				
			CMSを導入し、全職員で協力して学校ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞを利用した情報発信・広報活動				
研修部	研修課	「主体的・対話的で深い学び」に向けたＡＬ型授業実施の取組み	ＡＬ的手法について学び、ＩＣＴの活用を進めるための研修の企画・実施				
			相互授業参観期間を設け、活発に参観できるよう工夫				
			授業アンケートを実施し、その結果を反映した授業改善の実施				
		校内職員研修の充実	人権・同和教育に関する職員研修の実施				
			教職員の不祥事防止に関する職員研修の実施				
			他分掌と連携して、教育課題に対応したタイムリーな研修の実施				
学年	１学年	基本的生活習慣の確立	出席奨励指導の徹底（安易な遅刻・欠席をさせない、出席率98％以上目標）				
			部活動や学校行事、生徒会活動への積極的な参加への奨励				
			規律ある集団活動（５分前行動の意識付け）				
			生徒自身の自律心を育成する積極的生徒指導の実践				
		自ら学び続ける姿勢の土台となる基礎学力の養成	充実した授業（主体的・対話的な授業）による学習意欲の喚起				
			基本的な学習習慣の確立（各教科での小テストの実施、計画的な課題）				
			「筑前レクチュール活動」の活用（図書課と連携し年２回ビブリオバトル）				
			客観的データに基づいた「学習のＰＤＣＡ」と適切な文理選択の支援				

別紙様式（B4横型）

令和２年度　学校自己評価表　（ 計画段階 ・ 実施段階 ）

学校番号 52

福岡県立筑前高等学校長　　印

（その3）

学年	２学年	生徒の自己肯定感と自己指導能力の育成	10分前登校の奨励、安易な遅刻・欠席撲滅（皆勤１４８名⇒２００名）				
			生徒の運営による学年集会、学年行事の実施				
			部活動と勉学の両立を高いレベルで実践できる生徒の育成（部活動加入率80%維持）				
			個人面談や家庭訪問、学年情報交換会実施による十分な生徒理解				
		高い志を持った具体的進路目標の設定および進路実現に向けた学習習慣（予習・授業・復習の学習黄金サイクル）の確立へのサポート	学年行事や進路行事の効果的運用（各行事ごとに事前指導を必ず実施）				
			複数回の難関大志望者に向けた講座の実施				
			生徒のニーズに応じた課外授業の設定（各教科、クラス解体での講座開講）				
			学習時間調査の効果的な活用（毎調査後の全体または個別への指導助言）				
	３学年	最上級生・社会人としての主体性の育成	最上級生としてのリーダーシップの発揮（生徒による学年集会等の企画）				
			主体的な学びを育む授業の実施（生徒も教員も授業で勝負）				
			面談等による生徒理解および生徒・教師・保護者との信頼関係の構築（個人面談を学期に１回以上実施）				
		新入試をふまえた、思考力・判断力・表現力の向上	ポートフォリオを積極的に活用し、「自分物語」を客観的に把握（リフレクションシートの活用）				
			国公立大の総合型選抜と学校推薦型選抜入試受験者の指導の充実（合格者２０名以上）				
			模擬試験等による学力の把握と分析、学年の進路検討会の学期に２回以上の実施				
			個別添削指導の実施				